

# 私立大学情報教育協会 アクティブ・ラーニング対話集会

2016年3月21日(月) @ アルカディア市ヶ谷

今、社会で起こっていることを授業と結びつける  
アクティブ・ラーニングの試み

～表現学科での授業実践から～

淑徳大学 人文学部 表現学科  
杉原 麻美

はじめに

# 大学・学部・学科の特色

～淑徳大学 人文学部 表現学科～



**1965年、社会福祉系の単科大学として開学。  
学祖は大巖寺住職で社会事業家の長谷川良信**

**大乘仏教の精神に基づく「共生」の思想  
社会で貢献できる人材を育成する「実学」教育**

**2014年4月、東京キャンパス(板橋区)に  
歴史学科と表現学科から成る人文学部を開設。  
現在、千葉・埼玉・都内で4キャンパス7学部**

## 【参考】現在3年目の4大学連携事業

平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」選定取組

### 「主体的学びのための教学マネジメントシステムの構築」

4大学連携：関西国際大学(代表校)、淑徳大学  
北陵学院大学、くらしき作陽大学

主体的に考え行動できる力を持ち、予測困難な時代に対応できる  
人材育成の要請を受けて、以下の取組を実施。

- (1) **アクティブラーニング**およびインパクトのある**教室外体験学習プログラム**など、  
学生が主体的に学ぶ教育方法を充実
- (2) 学修成果を可視化するため、**ループリック**及び到達テストを開発。
- (3) 全学的な教学マネジメントのもとカリキュラムを見直し、科目間・教員間連携  
を充実して組織的教育を確立。さらに、**学生支援型IR**を用いて学生データを  
蓄積し、本取組の評価・改善を行う。

大学案内

学部

大学院

キャンパスライフ

キャリア・就職

附属機関

入試情報



学部案内

歴史学科

表現学科

教員紹介



人と社会についての理解を深め  
「考える力」と「伝える力」をしっかりと育む



**◆ 目指せる免許・資格一覧**  
 知識を深め、高い教養と人間力で社会に貢献できる人材を養成



**◆ 学生作品集**  
 人文学部でこれまでに行った活動の成果として、学生の作品をご紹介します



**歴史学科**  
 現場と実物に触れながら歴史をより深く学び、歴史の息づかいを感じる

[◆ 日本史コース](#)
[◆ 東洋史コース](#)



**表現学科**  
 さまざまな表現方法で新たな可能性を引き出し、伝える力を育む

[◆ 文芸表現コース](#)
[◆ 編集表現コース](#)
[◆ 放送表現コース](#)

TOP

2014年4月 人文学部(歴史学科・表現学科)を新設

# 人文学部 表現学科

## 表現学科

文字の力で表現する  
**文芸表現コース**



メディアをつくる  
**編集表現コース**



声で伝える  
**放送表現コース**



10年後、30年後も求められる「**伝える力**」を磨く

# 表現学科の特長

## ①多面的な「気づき」の機会    ②メディアのプロから学ぶ

1年生で**演劇**の  
実践講義を必修に

「**書く力**」を必須に

**放送・編集・文芸**を  
横断的に学べる

自分の強みを段階的に  
育て絞り込んでいく

**現場**で実践されている  
ノウハウを学ぶ

「リアル」な**職業理解**  
を深める

**仕事のスタンス**を学ぶ

**作品**づくりを通じて  
自己成長

**少人数制**を生かした、**協働学習**による**実学教育**

# 社会と接続する アクティブラーニング型授業の実践

～3つの視点からの授業事例～

- ① 協働学習
- ② 企業・自治体とのPBL
- ③ 学外授業

# 社会と接続する アクティブラーニング型授業の実践

## ① 協働学習

- 例1) 通年でオリジナルの舞台を作りあげる演劇の授業
- 例2) ワールド・カフェや哲学対話を取り入れた授業

# 協働学習を重視している背景

---

## 学生の「協働性」の育成を重視

- 一 建学の精神「共生」にもとづく実学教育
- 一 表現に関連する職場・職種での人材要件  
例) 番組制作、メディア編集、作品づくり
- 一 職種を問わず求められる21世紀型スキル

1年 前期・後期 の必修科目である演劇の授業 最後にオリジナル作品で公演



「フユノホテル」 ～色と光と音のシンフォニー～



「大神さんと7人の八木さん」 ～ボンコツ家族の更正物語～



「神様見習いフルカヌスの冒険」 ～ゴッドフルカヌス～



最後に全員で記念撮影



- ① 人はなぜ学ぶのか
- ② 表現者に必要な学び
- ③ 時代環境と学び
- ④ 日本人と学び
- ⑤ 若者と学び

※画像はNHK「花燃ゆ」HPより



## <学生のコメント:リアクションペーパーより>

- 「花燃ゆ」を観たあとにワールド・カフェをやったが、以前より積極的に話し合いに参加できた。**前よりも内容の深い意見もたくさん出たので、とても良かった。**全部の授業を通し、創作意欲のかき立てられるものをたくさん学ぶことができた。
- 人によって観点が違うのはおもしろい。**自分の視野を広げられるので、**話すことはやはり大切**だと思った。ワールド・カフェはすばらしい。
- 表現カタログで授業のふりかえりができた。ワールド・カフェでは、なるほどと思うような意見があった。**同じテーマでも、全く違う意見が出ていておもしろい。**
- 哲学対話と聞いて、正直面倒そうと思ったけれども、**考えるうちに自分の意見が出て、グループワークもよく話し合えた。**  
ワールドカフェの形式は2年の授業でもやってほしい。
- 哲学対話の少し堅い話でも、ワールドカフェで面白いと思えた。文芸だけでなく、表現だけでなく、全ての学びにこの方法を取り入れるといいと思った。
- 「人はなぜ学ぶのか」という問いに対して、確かに人はなぜ学ぶのだろうと思った。今までやるものだからやるとしか考えていなかったが**「花燃ゆ」の中の「この世の中のために己がすべき事を知るために学ぶのです」というセリフに心打たれた。**

# 社会と接続する アクティブラーニング型授業の実践

## ② 企業・自治体とのPBL

例1) 飲料メーカー:若年層を取り込む企画

例2) スマホアプリ :60秒のラジオCM作品

例3) ウェディング :非日常イベントの企画

例4) 板橋区:学生が目線から街の魅力を伝える(区報)

# PBLで重視している点

---

学生が「**自分事**」として考えられる機会にする

- (とくに1～2年生は)等身大の自分で企画を練ることが可能な課題を設定
- 企業・自治体の悩み・課題をしっかりと理解したうえで取り組む
- 企業・自治体からのフィードバックを丁寧に行う(本気の学生ほど、「評価」を求めている)

## 飲料メーカー：若年層を取り込む企画

- ・「若者向け飲料を開発して  
広告プランを作成する」課題



- ・若者の消費行動を観察して  
ニーズを探り、競合他社の  
商品やテレビCMを分析した  
うえで企画を練る。
- ・企業のマーケティング  
担当者による講評

## スマホアプリ : 60秒のラジオCM作品

### キュレーションマガジン

# antenna\* とは...

(リリース資料より)

antenna\* [アンテナ]は、自分好みの情報が“集まる”キュレーションマガジンです。

エンタメ/カルチャー/ライフスタイルを中心に、お出かけ情報/ファッション/グルメ/レシピなど検索ではなかなか見つからない厳選された情報を1日1,000以上配信。

さらにキーワードやエリア、ジャンルやメディアなど、お気に入りの情報を「マイリスト」に登録すると、自分好みの情報が心地よく“集まり”ます。



#### ◆ランキング実績/受賞歴

- ・2012年 5月 18日 App Store 無料ニュース/iPhone 1位
- ・2012年 11月 14日 Google Play 無料ニュース&雑誌 1位
- ・2013年 2月 21日 App Store 無料ニュース/iPad 1位
- ・2013年 7月 18日 App Store 無料総合 /iPhone 1位
- ・2013年 12月 17日 「App Store Best of 2013 今年のベスト」受賞
- ・2014年 10月 8日 Google Play 無料エンタテインメント 1位
- ・2014年 10月 22日 App Store 無料エンターテインメント/iPhone 1位

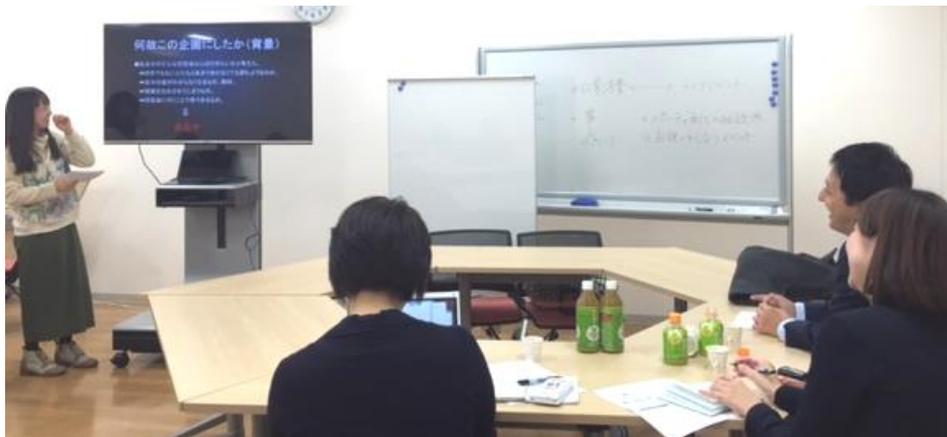
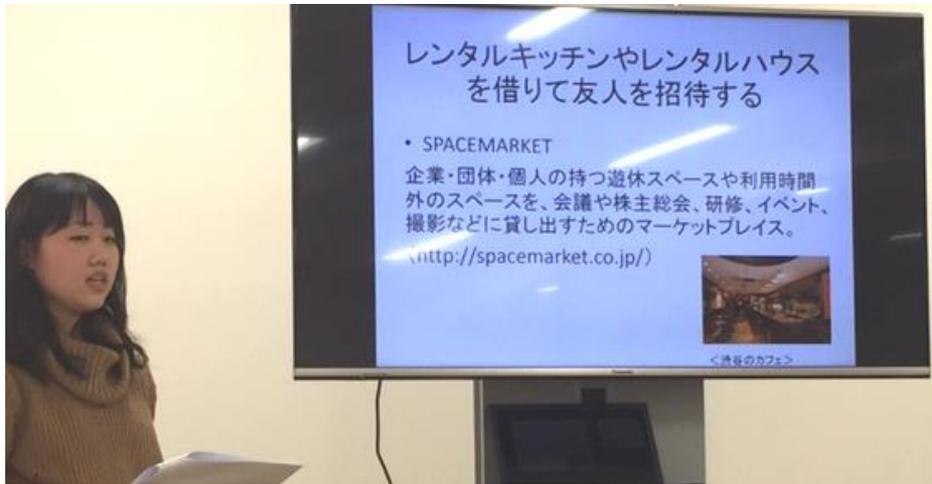
## スマホアプリ : 60秒のラジオCM作品

- antennaの60秒ラジオCM原稿の分析 → 学生が課題制作
- antennaの社長および広告クリエイターによる審査、特別講義、講評  
(優秀作3作品の表彰)



## ウエディング : 非日常イベントの企画

- ・学生の企画プレゼン
- ・ウエディングメディア編集長講義
- ・「未来の結婚式」についてのグループワーク





# 社会と接続する アクティブラーニング型授業の実践

## ③ 学外授業

例1) 東京国際ブックフェア

例2) 池袋駅での広告分析のフィールドワーク

例3) ときわ台レポート

# 学外授業で重視している点

---

学生が「リアル」「今」に触れ、刺激を受ける機会

- 一次情報に触れ、自分の言葉で語れる体験
- 変化し続けるメディアの「今」「業界」に触れる機会
- お膳立てし過ぎない



## 池袋駅での広告分析のフィールドワーク

2015年9月に設営された西武池袋駅のデジタルサイネージについて西武鉄道のご担当者にご説明頂く



その後、池袋駅構内を3グループに分かれて広告のフィールド調査



# ときわ台レポート(映像表現の授業より)

TVディレクターによる講義の後、学外での取材撮影をもとに最寄り駅「ときわ台」についてのレポート映像をグループ制作。あるグループは昭和20年6月10日の「板橋空襲」に着目した作品にまとめた。



# 今後に向けて

---

## 【課題】

- 評価方法の検討
- 教育効果の検証
- 協働を苦手とする学生の巻き込み方
- 持続的に運営できる体制づくり

## 【展望】

- 学科内外での連携
- 学生ごとの成果物の蓄積方法